

関 泰子 (せき ひろこ)

職 名	教授
専 門 分 野	社会学（比較社会学、地域研究）
学 位	国際学修士

【主な業績等】

項目	年月	概要等
論文・学会発表等：	2007年6月	「タイ・ラーマン（モーン）系住民における家族と宗教」比較家族史学会 2007年春季（第49回）研究大会
	2011年2月	「四国で女性研究者を育む：大学における女性参画のビジョンを語る」（四国女性研究者フォーラム）
	2012年	「タイ・モーン族における仏教と精霊信仰の実践がエスニック・アイデンティティに及ぼす影響」『社会学雑誌』(29)109-133.
	2014年3月	「タイ南部の船霊信仰」『立命館国際研究』26(4) 143-166
	2018年3月	「ミャンマーにおける船霊信仰と宗教的シンクレティズム」他（共）「東アジアにおける宗教的シンクレティズムの社会学的研究-日本・中国・東南アジア」【平成 27-29 年度科学研究費補助金（基盤研究（B）研究成果報告書）研究代表者・橋本（関）泰子】
著書等：	2007年	「タイにおけるミャンマー人労働者のエスニシティとナショナリティ-モーン族の事例を中心に-」[佐々木衛編『越境する移動とコミュニティの再構築』] <東方書店>
	2007年	「バンコクにおける女性のライフコースの変化と主婦化をめぐって（共）[落合恵美子他編『アジアの家族とジェンダー』] <勁草書房>
	2008年	“Housewifization and Changes in Women’s Life Course in Bangkok”（共）[Emiko Ochiai et al. eds., Asia’s New Mothers:Crafting Gender Roles and Children Networks in East and Southeast Asian Societies] <Global Oriental, UK>
	2011年3月	Withi Khoropkhrua chao asia nai satwat thi 21（タイ語）（共）[Emiko Ochiai, Worawet Suwanrada et al, eds.] <Chulalongkorn University Press.>
	2017年10月	「タイにおける妖怪と神 クマーン・トーン」(共) [小松和彦『進化する妖怪文化研究』] <せりか書房>